

教科	美術	学年	3年	時間数	1 / 週
使用教科書  副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術2・3下 学びの探求と未来 (日本文教出版)</li> <li>・美術 表現と鑑賞 (開隆堂)</li> </ul>				
<b>学習の目標</b>					
<p>◆ 美術科の授業を通して養う力と態度 ◆</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <p>【題材の目標】</p> <p>1. 立体制作「針金生物」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生物の特徴を様々な角度から観察する力を身につける</li> <li>(2) 針金・ペンチ等の道具の扱い方を習得する</li> <li>(3) 正面性だけでなく立体的な表現方法を学ぶ</li> </ul> <p>2. 卒業制作「今を生きる私へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自画像を発展させ、自分を具体的・抽象的に表現する力を身につける</li> <li>(2) 様々な画家の15歳の自画像を鑑賞し、多様な表現方法を味わう</li> </ul> <p>3. 公共美術「社会と美術のつながり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科書の資料を鑑賞しながら、社会をより快適にするために美術が果たす役割について学習する</li> <li>(2) 自分が美術を通して社会に貢献できることを考え、発想力を高めつつ社会参画への意識を向けさせる</li> </ul>					

評価基準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な技術・知識が身についている。	造形的なよさや美しさを味わい、表現の意図を工夫し、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
<b>評価の仕方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組みと内容</li> <li>・提出期限の厳守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内での活動や発言・態度</li> <li>・定期試験の点数</li> </ul>

課題	単 元	各月における進捗予定											
		1 学期				2 学期				3 学期			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
立体制作「針金生物」	1 針金体験（針金・ペンチの扱い方）	●											
	2 アイデアスケッチ	●											
	3 制作		●										
	4 制作		●										
	5 制作			●									
卒業制作「今を生きる私へ」	1 鑑賞・アイデアスケッチ			●									
	2 アイデアスケッチ				●								
	3 制作				●								
	4 制作					●							
	5 制作						●						
	6 制作							●					
	7 制作							●					
	8 制作								●				
	9 制作									●			
	10 作品展示										●		
「社会と公共芸術のつながり」	1 ワークシート①道のデザイン										●		
	2 ワークシート②お菓子のパッケージ											●	
	3 ワークシート③パブリックアート											●	
	4 ワークシート④社会課題を解決するデザイン												●
美術史	1 ルネサンス		●										
	2 印象派・ポスト印象派							●					
	3 現代美術										●		